

2016年度 事業報告書

2016年1月1日から2016年12月31日

特定非営利活動法人 e&g 研究所

1、本来事業

(1) カンボジア貧困地域での太陽光設置とそれを活用した IT 教育推進事業

カンボジアは近年都市部を中心に経済発展を遂げ、大都市における消費生活の変化は著しい。しかし、面積や人口の多くを占める農村部と都市部の格差は広がる一方で、農村部における生活環境は厳しいままである。特に、子どもを取り巻く教育環境は劣悪で、貧困ゆえに小学校を卒業できる子どもの数は半数程度、中学校に進学できる子どもの数は、ほぼ皆無に近い地域も多い。

カンボジアの電力インフラは遅れている上に、近隣諸国と比べても電気代は高い。したがって、農村部における電気利用は限定的で、本事業で実施対象地域として選定したコンポンスプー州の学校における電気利用は、皆無に近い。したがって、都市部で進んでいるコンピューター活用が進まず、技術を習得できないが故に職業の選択の幅は限られ、小規模農業への従事か、海外を含む出稼ぎに頼っている。貧困ゆえに、卒業や進学ができず、子どもたちは労働力として都市部のみならず、タイやマレーシア等海外へ出稼ぎに行き、家計を支えている。多くの子どもたちは、将来に対する希望を持ってない貧困故の悪循環が続いている。

そこで、このような貧困による悪循環を断ち切るために、本事業を通して教育環境を整え、技術を身につけて職業選択の幅を広げることができるよう、また、子どもたちが夢を持って、それを実現できるように条件整備を進める。その具体策として、太陽光発電により電気利用を可能とし、その電気を活用した IT・コンピューター活用を進めるものである。

本事業の対象地として、首都プノンペンの南西に位置するコンポンスプー州のストック・センチェイ小学校とオル・コントラム小・中学校を選定した。事業実施は、ストック・センチェイ小学校は2016年1月、オル・コントラム小・中学校は2016年11月に行った。この太陽光発電設置に合わせて、ノート型コンピューター2台とプリンター1台を寄贈し

た。なお、IT 事業を効率良く進めるため、本事業の前段として、先生 5 名及び 4 名を選定し、近隣のコンピューター・スクールでのワード、エクセル等の習得を進めた。その先生が中心になり、現在両校の IT 教育を推進している。特に、先行したストック・センチェイ小学校は地域の IT 教育推進のセンターとして機能し、地域の方々にも開放されている。さらに、電気利用が可能となることで、LED ランプ照明で、天候の悪い日や夜間での教育活動が可能となった。

(実施額 1,499,619 円)

(2) 環境や国際理解に関する調査研究事業

ドイツエネルギー政策研究

今年度も引き続き、環境先進国・ドイツとのつながりを生かし、再生可能エネルギー活用に焦点を当てた情報収集に努めた。

(実施額 2,000 円)

2、事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (円)
国際化に配慮したまちづくり事業	カンボジア貧困地域での太陽光設置とそれを活用した IT 教育推進事業	2016 年 1 月および 2016 年 11 月	福山市	20 人	1,500 人	1,499,619 円

環境や国際理解に関する調査研究事業	ドイツエネルギー政策研究	通年	福山市	1人	100人	2,000円
-------------------	--------------	----	-----	----	------	--------

(1) その他の事業に関しては、対象となる事業はない。